

理事会議事録

【理事会議事録】

日時：2003年1月11日(土)
11時00分～16時30分

場所：国立天文台大会議室

出席者：松田、祖父江、若松、杉山、郷田、関井、松原、蜂巣、土橋、土居、田、谷口、栗木、佐藤、花見

欠席者：なし

有効委任状提出者：なし

他に、旧理事として田原、立松、上野、大橋、茂山、加藤、松元、黒田、吉田、山内、及び、東條事務長が参加した。

議事に先立ち、署名人を選出した

議長：松田卓也

署名人：郷田直輝、杉山直

報告

- 前回議事録の確認（資料1）
郷田理事より前回（2002年10月7日）の理事会議事録が報告され、原案通り承認された。
- 今後の年会について
東北大学がホストとなる2003年春季年会について谷口理事より、愛媛大学がホストとなる2003年秋季年会について栗木理事より、準備状況に関して報告があった。名古屋大学がホストとなる2004年春季年会について、佐藤理事より、日程は三月中ごろ、3日間プラス最後に日曜日の予定で進めている旨、岩手大学がホストとなる2004年秋季年会については、花見理事より、9月下旬の日程で準備を進めている旨の報告があった。
- 小柴先生の講演会共催について
郷田理事より、物理学会年次大会中に行われる総合講演会の協賛として、3月30日(日)に講演会が行われることが、前期の天文学会理事会、及び物理学会理事会で決定していることが報告された。この講演会の参加に限って、天文学会員であれば登録料が不要となる。マスコミ等と共催することを検討していた講演会は時期を逸したために当面見送ることとする。今後は迅速な対応が望まれる。
- 記念出版事業と編集委員会について（資料2）
郷田理事より、現在の進行状況について報告があった。東京大学岡村氏が委員長に選出され、編集委員会の編成や今後のスケジュールの検討などが行われている状況である。可能ならば、3月の理事会において編集委員が提案される予定である。
- ALMA要望書の提出について（資料3）
郷田理事、田原前理事長より、要望書に対する反響について報告が行われた。さらに強く世論に訴える必要があるとの指摘が各所からされた。赤旗の記事に天文学会の要望書についての言及があった。
- その他
 - 日本の科学を病弊させるトップダウン政策の見直しを（資料4）
加藤前理事より、学会会議天文研連から出された、総合科学技術会議のトップダウン政策に対する批判の声明に関して報告があった。
 - UAPについて（資料13）
郷田理事より、状況説明が行われた。現在係争中であるが、2003年1月20日に時効が成立する。なにかあった場合には、弁護士を通すことを周知する。
 - 天文月報編集委員の追加
上野前理事より、県立群馬天文台の溝崎氏を加えることが前期の持ち回り理事会で決定され、理事長によって任命された旨、報告があった。
 - 天文月報二重投稿について
上野前理事より、商業誌との二重投稿があったが、著者から原稿がとり上げられたとの報告があった。著作権に関する啓発、引用の場合のガイドラインのまとめなどについて意見交換された。
 - PASJ referenceの簡略化
大橋前理事より、Referenceの書式を簡略化し、著者数が9人以上の場合、第一著者の後をet al.とすることにした。これにより書式はApJと共通になる、との報告があった。
 - 男女共同参画学協会連絡会設立集会について（追加資料）加藤前理事より、設立の経緯および天文学会も正式参加した旨の報告があった。

議題

- 2002年度事業報告書案（資料5）
2002年度事業報告書案を郷田理事が説明し、質疑応答の後、一部修正の上、同報告書案は承認された。
- 2002年度収支決算報告書案（資料6）
2002年度収支決算報告書案を松原理事が報告し、質疑応答の後、一部修正の上、同報告書案は承認された。
- 監査報告（資料7）
2003年1月9日に実施された監査の結果、上記事業報告書案及び収支決算報告書案が正当であると認められたことを監事の代理として杉山理事が報告し、理事会としても了承した。
- 新入会員の承認（資料8）
郷田理事より、資料に基づき、新規加入者の紹介があり、承認された。
- 内地留学奨学金に関する内規改定案（資料9）
郷田理事より、西村委員長からの第4条「留学希望年度の前年の9月末までに」を「留学希望年度の前年の別途公示する期日までに」に変更するという提案が報告され、承認された。従って、この提案を評議員会に諮ることとした。
- 天文学会各賞・基金の英文名（資料10）
郷田理事より、英文名の案が報告され、議論の後、承認された。
- 第8回IAUアジア・太平洋地域会議会計監査の人選
IAU地域会議の会計監査の人選について、長谷川組織委員長から委嘱の依頼があった旨、郷田理事から報告があり、議論の結果、関井理事に決定した。
- IAU京都総会記念基金会計の終了及び、記念基金内規の廃止（資料11）
郷田理事より、事情説明があり、廃止が決定された。
- 第19期日本学術会議会員候補者選挙について
郷田理事より、選挙が中止となった経緯について説明があった。日本学術会議からの今後の急な依頼に関しては、通常の方法では対応できないので、やむをえない場合については、内規とは異なるが、理事会で対応することとし、この件について評議員会に諮ることとした。この旨を次回の評議員会に報告する。
- 各委員会等の申し送り事項（資料12）
資料に基づき、申し送り事項に関して、旧理事より、新理事に引き継がれた。
- 民間財団等の賞の推薦方法について
評議員会から、理事会において、学会からの推薦を積極的に行うのに有効・適切な方法を考えるようにとの依頼があった。諮問委員会をつくる、すでに経験のある林賞などの選考委員会委員に委嘱する、などの提案があった。結局、理事会、評議員会、各賞の委員会に、改めて、推薦を積極的に行ってもらおうという結論になった。
- 自薦のみの若手対象の賞について
研究奨励賞の応募で自薦も可能とする案を評議員会に出したが、それは認められなかった。そこで、奨励賞以外の、自薦だけの賞を作ったらどうか、という提案が評議員会から出されている、との説明が郷田理事よりあった。奨励賞の現状は、限られた人からの推薦が出ている。推薦されない人をどう拾い上げるのか、しかし、新たに別な賞を作る必要はない、などの議論の後に、理事会、評議員会、各賞の選考委員会に、改めて、推薦を積極的に行ってもらおうための理事長名での依頼を行う、という結論になった。
- その他
 - 賛助会員について
会員の半田氏より賛助会員が減少傾向にあることに対して、理事会が何か手を打つ必要があるのでは、という要望があり、その旨を郷田理事が代理で報告し、その後意見交換を行った。学生の旅費補助に充当する分なので、減少は深刻である。しかし、旅費補助が本当に必要なかまで、さかのぼって考える必要がある、努力はしても、今の経済状況では、あまり効果的ではない、などの意見がでた。しかし、努力はすべきである、また、若手への旅費援助のあり方に関する検討も考慮すべき、という結論に至った。
 - ジュニアセッション予稿集の配布
前回の総会で、ジュニアセッションに出られない人への予稿集の配布希望が会員の阪本氏からあった旨を、郷田理事が報告した。その後、意見交換を行ったが、年会の会場にすでに置いてある事などから、事前にほしい人、学会に出席できない人は、個別に学会事務局が対応する、ということとなった。
 - ALMA特別セッション（資料14）
2003年春季年会に行われるALMA特別セッションに対して、会員の松尾氏から天文学会も共催して欲しいとの要望があり、郷田理事が説明した。議論の結果、共催となることは認められた。ちなみに、年会の中での共催に関してのみ、理事会にかけるが、その他は、一般に庶務理事が判断することが確認された。
 - 光天連から2003年春季年会企画セッションの共催提案
茂山前理事から、2003年春季年会企画セッション「光赤外の将来計画とサイエンス」の講演者に対して、ここでの講演が2つ目の講演になってしまう場合に、講演料を光天連がサポートを行うので、光天連との共催にしてもらいたい、という提案があり、議論の後に、承認された。
 - PASJ論文賞応募方法簡略化等
蜂巣理事から、推薦要項を簡略化し、推薦しやすくするとの提案があり、了承された。従って、この案を評議員会に提案することとなった。内規の「1年に2件以内」を「1年に3件以内」に変えたいとの提案もあったが、次回の理事会に、正式に提案することとなった。
 - 総合科学学術会議に対する声明
郷田理事より、物理学会等とも連携して反対声明を出したいとの説明があり、松原理事から補足説明が行われた。松原理事が、原案を取りまとめ、持ち回りの理事会を経て、評議員会に諮ることになった。
 - 次回以降の日程
次回の理事会は、春季年会中の3月24日(月)昼休み、次々回は6月28日(土)、国立天文台で行うこととなった。

2003年1月25日

議長 松田卓也 印

署名人 郷田直輝 印

署名人 杉山直 印